

SOEPA シンポジウム 2017（一般公開）

知的オフィス環境推進協議会
会長 三木光範（同志社大学理工学部教授）

シンポジウムの目的およびメインテーマ

知的オフィス環境推進協議会は、オフィス空間の環境、特に照明および空調を中心とし、その他、オフィス空間の設備の次世代の姿を考える目的で、2007年12月に同志社大学、三井物産戦略研究所、沖電気工業株式会社、松下電工株式会社、株式会社日立製作所などが設立した知的オフィス環境コンソーシアムの6年間の活動を母体として、2013年に知的オフィス環境推進協議会と名称変更し、毎月1回の定例研究会および臨時に行う特別専門部会、および年1回開催する一般公開のシンポジウムなどの活動を行っており、オフィス業界に新たなコンセプトを発信している団体です。詳しくは知的オフィス環境推進協議会のホームページをご覧ください。

<http://mwind.jp/soepa/>

本会員企業は、知的オフィス環境推進協議会での情報交換を基にそれぞれ新たなオフィス環境作りの研究・開発などを行い、異業種交流のシナジー効果を上げています。昨年的一般公開シンポジウム（参加費無料）では約100名の参加がありました。今年のシンポジウムも一般公開とし、参加費無料で、知的オフィス環境推進協議会の活動の紹介を含め、オフィス関係者と共に次世代のオフィス環境について考えるきっかけを与えたいと考えています。今年のメインテーマは次の通りです。

メインテーマ：スマートネス、サステイナブル、そしてウエルビーイング

開催日時

2017年3月06日（月） 13:00-17:00

開催場所

同志社大学東京オフィス（東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階）

<http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/access/map.html>

プログラム

13:00-13:05

1. オープニング（理事長 10分）

名古屋大学客員教授 西村 真

13:05-13:35

2. 最新オフィスの事例（ビデオ映写と説明）（2件×15分 [映写時間含む] =30分）

（1）「コニカミノルタ株式会社の新研究開発棟『コニカミノルタ八王子SKT』」

コニカミノルタ株式会社 総務部ファシリティグループ
玉井英輔 (SKT 設計・建設プロジェクトチーム)

https://www.konicaminolta.jp/about/release/2014/1014_02_01.html

(2) 「ダイキン工業株式会社のテクノロジー・イノベーションセンター」

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター
担当課長 大島久典

<http://www.daikin.co.jp/tic/index.html>

13:35-13:50

3. 基調講演 (会長 : 15 分)

「メインテーマ : スマートネス、サステイナブル、そしてウェルビーイング」

同志社大学理工学部教授 三木光範

概要 : いま、ウェルビーイングという概念に注目が集まっている。ウェルビーイングとは何なのか、オフィスでウェルビーイングを実現するにはどうすれば良いのか。そして、ウェルビーイングを支える基盤として、オフィスのスマートネスとサステイナブルを考える。

13:50-14:50

4. 講演 1 (講演 50 分+質疑応答 10 分=60 分)

「都市を舞台としたイノベーションと建築のサステナビリティ」

野城智也氏 (東京大学生産技術研究所 教授)

概要 : 情報・知識が場所に対して粘着性(stickness)を持っているがゆえに、また、現代のイノベーションが分担協調型(distributed innovation)となっているがゆえに、都市がイノベーションの舞台となりつつある。こうした観点から見て建築のサステナビリティを如何にとらえ、何をすべきなのか、具体例を交えながら私見をご披露する。

14:50-15:05 休憩 (15 分)

15:05-15:50

5. 講演 2 (講演 40 分+質疑応答 5 分=45 分)

「日本とオーストラリアにおける働き方とワークプレイス戦略の今」

概要 : OECD 「より良い暮らし指標」で 6 年連続総合 1 位のオーストラリアと、同ランキングでワークライフバランス、健康状態共に下位 20%に沈む日本との間にあるワークプレイス戦略の違いは何か。今後検討が必須となるウェルネス推進の視点から考察する。

奥 錬太郎氏 (シービーアールイー株式会社ワークプレイス・ストラテジー)

15:50-16:50

6. パネルディスカッション (運営委員各 5 分×8 社=40 分+討議 20 分=60 分)

「新しいビル認証 WELL に準拠した照明設計の考え方」

パナソニック(株) エコソリューションズ社

戸田直宏

「明視だけではないヒトと寄り添う照明へ」

株式会社日建設計 エンジニアリング部門 設備設計グループ

篠原奈緒子

「クールビズ&ウォームビズに貢献する調温調湿エコサイクル空調」

木村工機株式会社営業開発センター センター長

斉藤一成

「ビル管理における IoT 技術の適用と変革」

三菱電機株式会社

加山 勉

「ビル運用におけるクラウドサービスの活用」

アズビル株式会社 BSC マーケティング本部環境マーケティング部

甘利 健

「既存建物の ZEB 化改修の取り組み」

東急建設株式会社 技術研究所 温熱・風グループ

富田健司

「3×3Lab Future での取り組み」

三菱地所株式会社 開発推進部

奥山博之

「オフィスビル環境ラベリングの最新動向」

(一社)日本ビルディング協会連合会

事務局次長 金子 衛

16:50-17:00

7. クロージング (10分)

開催主体

知的オフィス環境推進協議会

(会長：三木光範 [同志社大学教授]、理事長：西村 真 [名古屋大学大学院教授])

事務局：同志社大学理工学部インテリジェント情報工学科知的システムデザイン研究室

(610-0321 京田辺市多々羅都谷 1-3 香知館 KC-122)

以上